

台風第21号・22号による豪雨災害対策に係る緊急要望

自由民主党大阪府支部連合会 会長 中山泰秀 殿

平成29年10月22日に近畿地方に最接近した台風第21号により、府内では、最大総雨量537mmを記録するとともに、最大28市町村に土砂災害警戒情報が発表された。この大雨により、山間部を中心に倒木や土砂崩れなどによる道路の通行規制や内水浸水の発生、農林関係施設の被災など、各地で甚大な被害が発生したところへ、翌週も台風第22号に見舞われることとなった。

岸和田市大沢地区では土砂崩れにより牛滝川が堰き止められ、溢れた水で近くを走る府道岸和田牛滝山貝塚線が冠水し、走行中の車両が水没したことにより尊い人命が失われるなど非常に痛ましい被害も発生した。

また、南海本線においては、男里川橋梁の下り線にゆがみが認められたため、樽井～尾崎間が運休となり、現在、南海電気鉄道株式会社が全面的な運転再開をめざしているが、未だ、府民生活及び経済活動に深刻な影響を及ぼしている。

被災後、関係者が全力で復旧対策にあたっておられるが、府民は、浸水によるさらなる生命や財産の損失や、生活の基盤となる道路や鉄道が利用できない不便さがいつまで続くのか不安を募らせている状況にある。

このような状況において、府民の安全・安心を支えるため、現在も通行止めや交通規制が続いている道路や被害を受けた河川など、公共土木施設・農林関係施設の一日も早い復旧に向け、国に対して必要な財政支援や技術的支援を取り計らっていただくよう、要望する。

平成29年11月4日

自由民主党・無所属 大阪府議会議員団

幹事長 花谷 充愉